

校庭から生まれる『人と人とのつながり』 ～校庭芝生化がクラブ周知へ及ぼした効果とは～ (NPO法人しんじ湖スポーツクラブ・島根県松江市)

1. 小学校芝生化によるグリーンサポーター配置

NPO法人しんじ湖スポーツクラブでは、芝生化について以前から非常に高い関心がありました。そこへ、平成20年に松江市から宍道小学校校庭芝生化について提案がありました。宍道町の特徴を生かした管理・運営を考えるため、クラブ・PTA・学校・地域等の関係者を集め「しんじ芝生育成会」を設置し、半年間の話し合いの結果、何とか植え付けまでいたりしました。植え付けの当日は、当初の想像を超え、子どもから高齢者まで約600名の参加がありました。そして、約3ヵ月後には、素晴らしい芝生が校庭一面に広がりました。芝の管理については、宍道の芝生だから宍道で管理しようという考えのもと、地域で日中に時間のある方を中心に、「グリーンサポーター」を配置しました。



2. 芝生とグリーンサポーターの効果

グリーンサポーターは、芝生の安全管理が主な活動です。散水・芝刈り・肥料まきを行い、芝生化によって危険なことはないか常に気にかけています。

そして、クラブにおけるグリーンサポーターの重要な役割は、芝生を通じたクラブの周知活動です。住民にとって芝生に対する疑問や要望は、常に芝生に関っているグリーンサポーターへ寄せられます。一方、事務局には、しんじ湖クラブ全体の問い合わせがきます。そこでは、「芝生のことから知ったのですが、しんじ湖クラブって何？ 何をしているの？」などの質問があり、芝生を通じてクラブ名の周知につながっていることがわかります。実際、この流れでクラブを知っていただき会員になった方も沢山います。そういった意味でも、芝生とグリーンサポーターは、クラブにとって非常にありがたい存在です。



メルマガ7月（57号）

＜特集＞ クラブをわかりやすく伝える～住民との共感プロセス
印象に残る方法で、まず「存在」を知ってもらう①

3. 芝生を活用したクラブイベント

しんじ湖スポーツクラブでは、芝生をメインとしたイベントを行なっています。その1つが「グリーンフェスティバル」「グリーンランド」です。芝生の上にニュースポーツの道具を並べて、子どもからお年寄りまで好きなように遊ぶことができます。また、運動会でも転んで痛くないので、全員が思いっきり走ります。保護者の方からも「涼しくて安全である」との声が多く寄せられ、非常に好評でした。

今後も芝生を活用して、クラブ会員を増やしていくことでしょう。



(平田貴之 島根県クラブ育成アドバイザー)

【NPO法人しんじ湖スポーツクラブ プロフィール】

1. 設立

設立年：平成14年3月21日

経緯：平成12年「生涯学習のまちづくり戦略」に基づく住民参画のまちづくりの一貫として「総合型地域スポーツクラブ」の育成に取り組む

2. 地域

人口：約9,500人（世帯数約2,500）

3. クラブ

会員数：733名

予算規模：80万円（会費収入のみ）、95万円（イベント参加料）

4. 連絡先

〒699-0406 島根県松江市宍道町佐々布204-4 松江市宍道体育センター2階
クラブハウス内「NPOしんじ湖スポーツクラブ」

TEL/FAX: 0852-66-8686 E-mail: sports-shinji.no1@violin.ocn.ne.jp

URL: 『いかこい！ やらこい！ たのしまこい！』しんじ湖スポーツクラブ(ブログ)

<http://blog.canpan.info/ikiikigenki/>

関連リンク：平田貴之氏プロフィール <http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/32.html>